



2018年10月 やいろ鳥の会

(第145回) 活動と例会のご案内

10月の親講座は28日です。

講師 香川ポレポレ農園 松田勝先生

テーマ: ひきこもりの対応と

グループカウンセリング

会場 ソーレ(高知市旭町3-115 電話 873-9100)

個別面談と親講座とも4階和室-2 です

時間 午後1時半から午後4時半

個別面談 午前10時から12時の予定。申し込みは
直接松田先生に(携帯 090-8695-0904)して下さい。

概ね30分3000円です。

駐車場が混雑することがありますのでご留意ください

やいろ鳥の会 会長 坂本 勲

HP <http://khj-yairo.org/>

E-mail ja5cin@arion.ocn.ne.jp

農福連携 in 安芸市

9月になって高知市から男女1名と
兵庫のF君が就労しました。まだ始
めたばかりでいろいろと大変なよう
ですが、頑張っているとのこと。

皆様台風の被害はありませんでしたか? この頃大きい台風が立て続けに来襲しますがこれも温暖化の影響なのでしょう。

朝晩は涼しくなり、食べるものも美味しく感じられます。皆様如何お過ごしですか。ひきこもりの子どもを抱えて悩み多いと思いますが、とりあえず親が健康で長生きできるように日々できる健康増進策を生活の中に取り入れていったらと思います。私は庭先に鉢を並べてアロエベラの栽培を始めました。皆様どのような健康増進策をなさっていますか? 皆様の健康増進策をやいろ鳥の会の会員で共有できたらいいですね。お構いない方は教えて下さい。

ひきこもり支援策の要望書と県議会質問

要望書に対する回答期限は8月31日でしたが、高知県と高知市からはもうしばらく待つて欲しいとの連絡が来ています。

9月28日、県議会で公明党の黒岩正好議員がやいろ鳥の会の要望書について執行部に対して質問しました。要望書に対する県副支部長の答えは、①ひきこもりの相談があればよく話を聴いて関係機関に繋げる。②生活困窮者自立支援法を活用してできる限りの対応をする。③国の行う実態調査の結果を参考にする。④ひきこもり支援のネットワークの中で親の会を活用していく。⑤農福連携を推進して障害のある人でもできる農作業の切り出しなどを工夫していく。という答弁でした。

前回の親講座

9月16日に大崎先生の親講座を開催しました。テーマは解決するよりも理解するという事で19名が参加しました。前半のお話は、ひきこもりを考える哲学についてでした。

理解を深める以外、状況を変化させる方法はない。自分にできる事を少しずつやってみる。当人と信頼関係を築く。当人の話をよく聞く。共感的に聞く。当人はひきこもりの中で自分を語る言葉を見つけれないでいるかもしれないので親は当人の言葉の空白を自分で補いながら聞く。当人の苦しみを理解するように努力する。自分は知らないという所から出発する。決して世間の常識を当人に押しつけない。自己肯定感を育てるような接し方をする。当人の価値を認める。完全な親や支援者にならなくてよい。できることを精一杯頑張る。親や支援者は心豊かに生きるように努める。当人は見ていないようできてじっと見ている。自然に目を向ける。自分の弱点や欠点を隠さない。ありのままに生きる。人の苦しみに自分の心を重ねてみる。その瞬間に心にポケットができていろいろな恵みが入ってくる。大切な人や支援者に巡り合える。そして、自分の苦しみが癒される。人を分け隔てすることなく接して生きていく。真面目に誠実に生きる人には幸運が訪れる。子どもを治すという立場ではなく社会の方を変えていくという立場に立つ。ひきこもりは本人や親が原因ではない。ひきこもりは社会現象である。当人にとってひきこもって自分を守るというのは自然な事である。

大崎先生の親講座アンケートでは参加者の書き込みが多いです。今回の書き込みでは*親や家族が感じた小さな幸せを本人に伝える事が大事だと思った。誰もが悩みや苦しみ、生きづらさを感じながら生きている。ひきこもりに関することを学びだして人間とは、生きるとはなど深く考えるようになっていきます。人生に活かせればと思います。*大崎先生のお話は具体的な面とても深い内容があり、いつも充実感があります。より一層娘の心の内面に寄り添えるよう努力したいと思います。*パーフェクトな親でなくていいという言葉に少し救われました。*同じ苦しみを経験した人の話は説得力がある。*子どもの話を聴いているつもりでしたが、まだまだ共感しあえてない部分もあり反省しました。だいぶ関係も良くなってきたと思われるのでいろんなきっかけを作っていかなければと思います。*とても分かりやすいお話でした。メモしたことをもう一度振り返り、親としての在り方、関わり方を考えていきたいと思っています。*これからの残り少ない人生の中で新たな自分の生き方を見直すことができました。

10月28日日曜日の親講座は香川ポレポレ農園の松田勝先生です。

日時 10月28日(日) 13:30~16:30 会場 ソーレ 4階和室
(高知市旭町3-115 電話 088-873-9100)

★13:00 開場

★13:30~13:40 事務連絡など

★13:40~16:30 講義と休息 質疑応答 グループカウンセリング

個別面談 松田先生の個別面談は10時から12時まで4階和室で行います。

面談の申し込みは直接松田先生に電話で申し込んでください。(携帯 090-8695-0904)

駐車場が込み合うことがありますので少し早めにおいでください。

やいろ鳥の活動カレンダー

- ◆10月14日(日) 家族サロン(聞き役: 安藤里恵子氏/ひきこもり支援センター)
午後2時から4時半 東部健康福祉センター2階研修室
- ◆10月28日(日) 親講座 松田先生 13:30~14:30 **ソーレ4階の和室**

午前中 10時から12時までは松田先生の個人面談が受けられますので直接

松田先生 (090-8695-0904) に申し込んでください。

- ◆11月4日(日) 家族サロン(聞き役:森木裕子さん、東部健康福祉センター2階研修室)
- ◆11月10日(土)―11日(日) KHJ 家族会全国交流研修大会 in 広島(6名参加予定)
全国大会参加希望者は坂本まで 090-3184-8109 親講座はお休みします。
- ◆11月25日 KHJ 主催 生き方フォーラム in 大阪市中央区 ドーンセンターホール
- ◇12月は部屋が取れませんでしたのでサロンと親講座はお休みの予定です。



8月にといろに来てくれた山梨のS君から美味しいブドウが送られてきました。といろで接待してくれた方々で頂きました。



相愛での作業の様子がチラシになって薪と共にお客さんのところに届きます。薪割の後1シーズン乾燥させた薪を綺麗にして箱詰めして発送します。

地域ひきこもり支援センターでの相談などについて

ひきこもりに関する相談はどなたでも月曜～金曜に県立精神保健福祉センター☎088-821-4966
又は ひきこもり地域支援センター☎088-821-4508 で受け付けてもらえます。庁舎は移転しましたが(移転先は高知市丸ノ内1-7-36 興林会館4階)電話番号は変わりません。お気軽に相談や個人面談を申し込んでください。車は県庁の駐車場に止めてください。面談の場合は先ず電話で予約をとってから訪問するようにしてください。(無料)

年会費の払い込み

年会費は一家族3000円です。

現在は平成30年8月から平成31年7月までの年会費を集めています。

(家族サロンと親講座の会場でも未納年度分も含めて納入できます。)

振込先は 四国銀行 山田支店 (普) 0602101

全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいろ鳥 代表 竹中あおい

電話相談・メール相談 情報配信

随時電話相談をお受けしています。携帯 090-3184-8109(坂本)まで。

相談メールのアドレスは Ja5cin@arion.ocn.ne.jp です。どちらも無料です。また、全国家族会の資料・情報や視察・交流事業やイベント情報のお知らせを適宜配信しています。ご希望の方は会長あてにメールを送ってください。

募集中

高知市重倉の憐相愛での薪割作業又は南国市岡豊町の医大西側で木質ペレット詰め作業の監督をしてくれる親御さん。毎週金曜日の約3時間(11:00—14:00 又は 14:00—17:00)若者たちの薪割作業の監督と手伝い。ただし無給です。可能な方は坂本まで連絡して下さい。といろの中間就労事業の一つを憐相愛から業務委託されましたがその作業の条件が親が監督することです。どうかご協力お願いします。090-3184-8109(坂本ま

といろの電話番号が変わりました。

088-881-2350

最近葛島の東部健康福祉センターの会場が確保できない時がありますのでその時は旭のソーレや塩田町の高知社会福祉協議会の建物を借りるようにしています。月例通信で場所を確認しておいでください。

また、これからの親講座でどんな事を学びたいですか、どんな人を読みたいですか。希望があれば会長まで知らせて下さい。

同封のチラシは

◆KHJ 本部主催で 11 月 25 日大阪で開催される **生き方フォーラム** の案内です。個人参加になります。

◆精神保健福祉センターで開催されている **青年期の集い** の予定です。参加希望や問い合わせは電話でお願いします。電話 088-821-4966 又は 088-821-4508 です。

◆9月8日大阪で開催された「ひきこもりからの回復」フォーラムの報告チラシです。

◆NPO 法人青少年自立支援センターチラシ。

◆エレガントな脳科学他。